

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	アンティクス	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：アンティクス**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

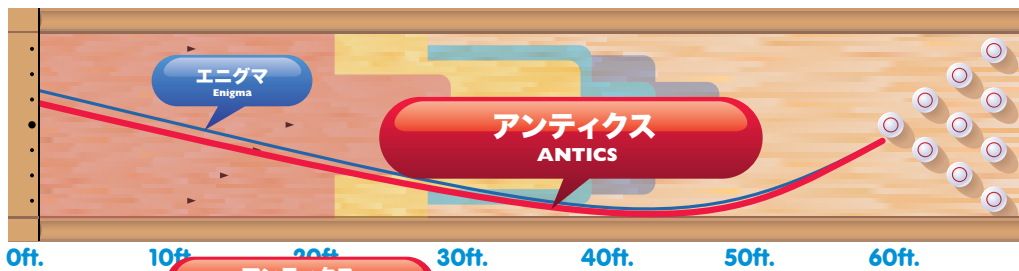
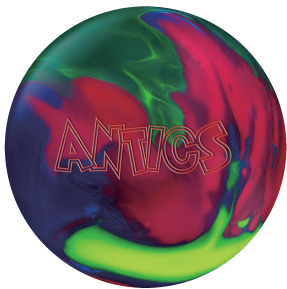
**比較対照ボール：エニグマ**

フレアーの幅  インチ

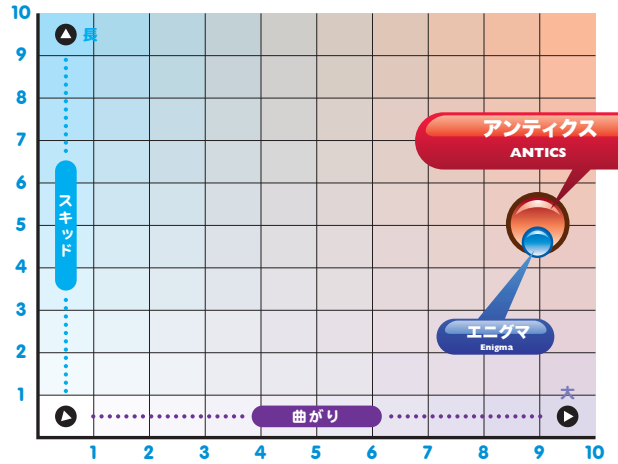
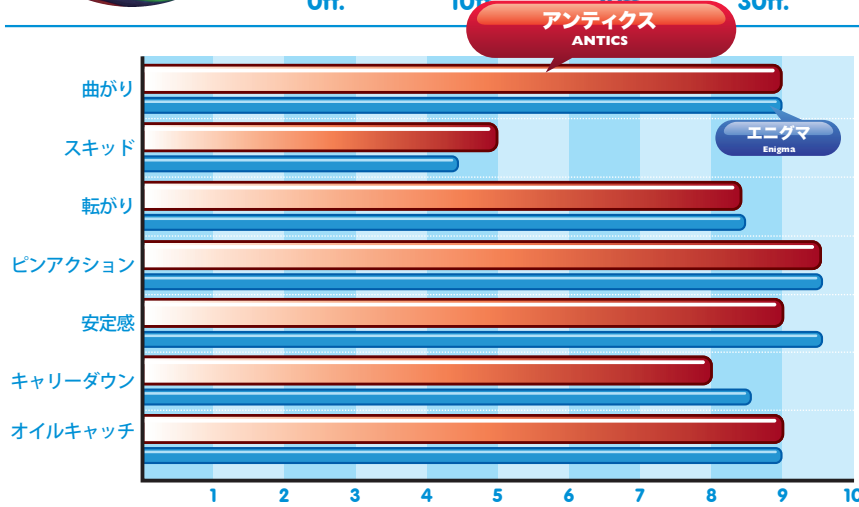
PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レングス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

先に発売された”新生コロンビア”MIDPerformanceのDisruption、Upper Mid PerformanceのSmack Downは、その領域を遥かに凌ぐパフォーマンスで”新しく生まれ変わった”コロンビア社を全面にアピールすることができました。

そして今回Hi Performance領域の”Antics”をご紹介します。

コロンビア社は今回、現行までのHi Performance領域からすみ分けを行うために、AR300というカバーストックを新たに開発、取り入れてきました。このAR300カバーストックは、同じHi Performance領域の”Enigma”に搭載されているTotal Friction Technology と同等のキャッチを生み出すことができますが、Enigmaにみられた手前からフルにキャッチのパワーを生み出すBig Hookのリアクション特性ではなく、キャッチのパワーバンドをミッドエリアからバックエンドにかけて集中して解放をキャッチさせる”Strong Breakpoint”特性を新開発の”Hi-Dynamix”コア、500, 3000 Abralonフィニッシュとで調整しながらリアクションを生み出しています。特に新開発の”Hi-Dynamix”コアのミッドエリアから特にバックエンドのネジレを意識した設計は、Hi Performance領域のカバーストックとの組み合わせで十二分にネジレを体感でき、曲がる印象を持つことができます。

今回はさまざまな加工でAnticsを投球しましたが、一つの例として先月発売されたSmack Downとハッキリとクラス分けをするのであれば、#1000Abralonか#2000Abralonどちらかの再加工の選択が好ましいと個人的には思いました。それでもバックエンドで原則することなく曲がりを得ることができましたので、ボウラーのタイプに合わせ選択の一つとしてお考えください。

### 特記事項

**新生コロンビアから発売されるHi Performance領域の”Antics”。**  
**Disruption、Smack Downと併用し、新しい息吹きを体感してください。**